キャラクター名
レオナ・S・冷泉(レイゼイ)

プレイヤー名

シンドローム	ソラリス モルフェウス	ワークス	UGNエージェントC	カヴァー	遺産探査局エージェント
オプショナル	ノイマン	年齢	20	性別	女
覚醒	感染	衝動	解放	初期侵食率	32 %
出自	親の理解	経験	古強者	邂逅	恩人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1	0	0			1
感覚	2	0	0			2
精神	1	1	0			2
社会	4	0	0			4

HP	24
行動値	6
(非装備時)	6
戦闘移動	11
全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転：			芸術：			知識：遺産	2		情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
パワーピストル	射撃	2r-1		3		ネームレスシティ掲載

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品

エンブレム：ピースレリック	

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
触媒	P	N		
ｸﾚｽﾄ・ｽﾀﾝﾌｨｰﾙﾄﾞ	P 好意	N 憤懣		
テレーズ・ブルム	P 尊敬	N 劣等感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 10	残り財産P： 7

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
戦術	4	6	ｾｯﾄｱｯﾌﾟ		ｼｰﾝ(選択)	自動		
効果：ラウンド間、対象のﾒｼﾞｬｰｱｸｼｮﾝの判定ダイス+LV。自身選択不可								
支援射撃	4	2	ｵｰﾄ	射撃武器	単体	自動		
効果：判定直前に使用、判定ダイス+LV個。自身選択不可								
ﾘﾊﾞｰｻﾙｼｮｯﾄ	2	6	ｵｰﾄ	20m	単体	自動	ﾘﾐｯﾄ	
効果：判定直後に使用、達成値+10。自身選択不可								
砂の加護	2	3	ｵｰﾄ	視界	単体	自動		
効果：判定直前に使用、判定ダイス+LV+1個								
解放の雫	3	3	ｲﾆｼｱﾁﾌﾞ	視界	範囲(選択)	自動	120、解放	
効果：ラウンド間、同意した対象のﾒｼﾞｬｰｱｸｼｮﾝの達成値+LV*3&侵蝕率２点上昇								
更なる力	1	5	ﾒｼﾞｬｰ	至近	単体	RC/20	80%	
効果：行動済みの対象を未行動にする。対象変更不可								
砂の刃	1	2	ﾒｼﾞｬｰ	視界	-	RC/対決		
効果：攻撃力+LV+2の射撃攻撃、ガード値-5								
力の霊水	2	4	ｵｰﾄ	視界	単体(自分以外)	自動	80%	
効果：ダメージロール+LvD10。ラウンド一回								
窮極鑑定	1		ﾒｼﾞｬｰ			自動or知識		
効果：解析用								
声なき声	1		ﾒｼﾞｬｰ			自動orRC		
効果：(ﾌｧﾐﾁｷください…)								
万能器具	1		ﾒｼﾞｬｰ			自動orRC		
効果：日常の便利アイテム作れる								
効果：								
効果：								

○プロフィール
性格：面倒見の良い姉御肌、振り回される側なので(多分)ツッコミ役
一人称：アタシ　二人称：きみ、あなた　三人称：ファーストネームを呼び捨て
口調：～よ、～ね、～じゃない

○能力
自身のレネゲイドの特異性を研究して作った薬「神毒(ネクタール)」を投与し、自他の能力を向上させることがメイン。
それ無しだと、必死に空気中の窒素を弾丸に変換し打ち出すことが限界。(それでも潟上の訓練の賜物で、人並みには戦えた)
遺産探査局に異動してすぐの任務で「神毒」を頭脳強化に用いた際、ノイマンのシンドロームにも覚醒。
それまでは薬が出来るまでヒット＆アウェイを繰り返していたが、ノイマンの頭脳力で周囲を活かす戦法にシフトした。

○経歴
現FBI副長官にしてUGN評議員「クレスト・スタンフィールド」と日本人の妻との間に生まれた一人娘。
幼少時に覚醒してすぐの頃、父親が自身の後輩である「潟上 鑒」に彼女のオーヴァードとしての訓練を押し付け…もとい依頼し、日本で訓練を受ける。
年齢など関係なく経験(任務への強制同行や『研修』など)を積まされた彼女は、15歳になる頃には、同年代のチルドレンや覚醒した元一般人を指導する教官役に就いていた。
だが、FH達の活発化を受け、評議員となった父から自身のレネゲイドの特異性を活かした『遺産探査局』への配属を命令され、本部へと帰還し現在に至る。